

# 校報 北斗牙ゆる

文責：一関市立舞川中学校 校長 今川 晋

2025年9月22日（月）

～逃げずぼやまじ～

一関市立舞川中学校  
学校だより No.6



## 熱戦！一関地方新人大会！！～ご声援に感謝！！～

9月13日（土）から2日間に渡り、一関地方中学校新人大会が行われました。新チームになり、2～3か月。短い期間ではありますが、酷暑の中、どの部も一生懸命に練習を積み重ねてきました。

大会当日は、初の公式戦ということもあり、緊張した選手もいたようですが、どの部も声をかけ合い、最後まで戦い抜きました。大会結果は下のとおりですが、男子バドミントン部は団体・個人戦に出場し、シングルスで氏家琉晟さんが、ダブルスで菅原悠月・三瓶愛翔さんペアがそれぞれベスト8に入りました。女子バドミントン部は、2年生3名が個人戦のみ出場しました。また、ソフトテニス部は、この春から始めた1年女子3名が個人戦に出場しました。

新人大会はあくまで通過点です。結果のみに一喜一憂せずに課題を確認し、来年度の中総体に向けて、練習を積み重ねることがこの大会の目的です。日頃ご指導いただいている指導者の皆さん、お忙しい中、応援に駆けつけてくださった、保護者の方々に心から感謝申し上げます。

### ～大会結果～

#### 女子ソフトテニス競技

- ・個人戦予選リーグ 椎名・佐藤颯（0勝2敗）、※佐藤心・大東中（1勝1敗）  
※自校でペアを組めない選手同士がオープン参加

#### バドミントン競技

- ・女子個人戦 ダブルス：千葉・袖野 初戦敗退  
シングルス：佐藤恋 初戦敗退
- ・男子団体戦 決勝トーナメント 1回戦敗退  
個人戦 ダブルス：菅原悠・三瓶 3回戦敗退（ベスト8）  
小野寺煌・竹岡、小野寺陸・吉川 初戦敗退  
シングルス：氏家 3回戦敗退（ベスト8）  
蜂谷 2回戦敗退



## 一関地方独唱大会

9月8日（火）、文化センターにおいて開催された独唱大会には各校から30名の参加がありました。本校から3年生の鈴木 杏さん（「春」）と小野寺暁士さん（「帰れ ソレントへ」）が出場しました。演奏は、夏休みからコツコツと努力を重ねた成果を感じられる素晴らしい発表でした。結果は、杏さんが堂々の優秀賞、暁士さんが優良賞でした。参観された保護者のみなさんとさわやかな良い時間を過ごすことができました。



## 一関地方駅伝大会！～晴天のもと走り抜きました～

9月8日（月）時折雨も降る蒸し暑い中で、一関地方中学校駅伝大会が行われました。本校からは昨年に引き続いて男子チームが出場しました。1年生からの新入部員3名も加え、総勢12名での駅伝練習は中総体後の6月から開始、暑い日も雨の日もコツコツと練習を重ね出場しました。1走で主将の千葉結斗さんが区間6位の果敢な走りを見せると、それに続く選手たちも全員が自己ベストの走りを見せ、昨年の記録を何と10分も短縮する好記録で襷をつなぎきることができました。平日にもかかわらず応援に駆けつけ、声援いただきました保護者の方々には心から感謝申し上げます。



## 舞中祭「Be the Change！」

今年のスローガンは「変化を起こすのはあなた自身だ！」という意味です。合唱や学習発表への取り組みやそれらの発表において、生徒全員が満足できる文化祭にするため、「人任せにせず自分自身が行動することを大切にしよう」という思いが込められています。インド解放の父として有名なガンジーの言葉です。早速合唱練習も始まりました。その様子は次回お伝えします。

# 1・2年生キャリア体験学習

## ～1年職場訪問学習・2年社会体験学習～

1年生は8月28日(水)に市内2つの企業の職場見学に、2年生は8月26日(月)～30日(金)市内13の企業での社会体験学習に取り組みました。1年生は自分の将来や働くことへの関心を高めることが、2年生は自分の特性や働くことの意義について理解を深めることが大きな目標になります。

こうした2年間の積み重ねの下に、3年生では自分にあった卒業後の進路選択することになります。

1年生は半日、2年生は5日間という限られた中で、働く大人たちに接することや事後の振り返りで、働くことへの関心を深めながら、働くうえで大切なことやその意義を自分なりに学び取ってきました。紙面の関係で写真は一部紹介します。学習の様子や生徒の感想等は次の機会に紹介したいと思います。

